

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170504021		
法人名	有限会社 アムケア		
事業所名	グループホーム まどべ		
所在地	札幌市豊平区月寒東3条7丁目1-6		
自己評価作成日	平成23年7月1日	評価結果市町村受理日	平成23年8月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一年を通して、散歩に出かけ、季節を感じながら地域の方と交流したり、社会から孤立しないよう支援しています。認知症になり、できないことが増えてきても、家事等の作業を入居者と職員が一緒にいき、「できること」「できないこと」を見極めながら、さりげない支援を心がけています。食事は大切な楽しみのひとつですので、献立は旬の食材を積極的に取り入れ、季節感とバリエーションに富み、喜ばれています。まどべの理念に基づき、入居者の個々のペースに合わせ、ゆったり時間が流れ、尊厳を守り、地域の一員としての社会的交流を支えながら、一日一日を大切に暮らすお手伝いをしています。

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0170504021&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン		
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F		
訪問調査日	平成23年7月28日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホーム まどべ」は、公園や日々の買い物に便利な商店が近隣に点在するなど生活環境に恵まれた静かな住宅地に位置している。施設長が理念に掲げている、ゆったりと寄り添いながら慈しみあって自分らしくいきいきと生きるという思いは、管理者をはじめ全職員に浸透し、個々の利用者と共に寄り添いながら温かなケアを行っているグループホームである。年間を通じて散歩に出かけて近隣住民と会話を交わしたり、開設記念日などの行事に地域住民を招待するなど、地域との交流も活発に行われている。施設長や管理者は職員の意見にも常に耳を傾けて積極的に取り入れ、運営にも役立てるように取り組んでいる。職員間の連携も深められ、日々の連絡体制も充実し、各利用者に応じた細やかなケアが統一して行われている。食事面にも力を入れており、季節感を取り入れ色彩にも配慮したバラエティーに富んだ献立で利用者を楽しみと喜びを提供している。常に細やかな心配りで過ごしやすい環境作りに取り組み、明るく清潔に整えられた共用空間と共に各居室は利用者の馴染みの家具や趣味の飾り物などが置かれ、個性的で落ち着いた室内になっている。利用者は明るい笑顔で会話を交わしながら、いきいきと自分らしく穏やかに過ごしているグループホームである。

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「ゆったり寄り添い慈しみ合って暮らしていきたい、自分らしく誇り高く地域の一員として生きいきと」の理念を居間とスタッフルームに掲示し全職員で共有しています。また、勉強会、カンファレンスなどで意見交換しています。	「地域の一員としていきいきと」という地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を掲げ、日々実践に取り組んでいる。管理者は採用時研修で理念を説明し、勉強会やユニット会議で再確認している。日々のケアで迷った時は理念に立ち返るように指導している。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会加入しており、今年は班長を務めるなど交流しています。また、毎日の散歩の折には、入居者の方と地域の方との気軽な声かけがあります。	毎日の散歩時や併設のカフェで地域住民と会話を交わしたり、近隣からお花をもらうなど日常的に交流が行われている。近くの公園で開催される保育園の運動会を見学することもある。開設記念日には地域住民を招待して交流を深めている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の時など、地域の方より認知症ケアについての相談を受けたりして、お話を聞いたり、アドバイスさせて頂いたりしています。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	外部評価や公表制度の報告を行っています。そこで話し合いや、意見交換を行っています。	目標達成計画の課題とした町内会長や民生委員の参加を得て、昨年は運営推進会議を5回開催している。外部評価結果報告の他、避難訓練を実施し、参加者から出されたアドバイスや多くの意見を日々の運営に活かしている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	役所の担当の方に相談したり、サービスの質の向上に努めています。また集団指導や管理者連絡会議には必ず出席しています。	管理者は介護保険の更新やおむつサービスの手続きなどで定期的に役所を訪問して連携を深めている。今年度は市役所の担当者が変わったので、管理者は協力関係作りにも更に積極的に取り組んでいく意向である。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアを行うよう、勉強会やカンファレンスに代表者が参加し、全職員に報告しています。玄関に施錠しないなどの実践しています。	管理者は外部研修資料を基に身体拘束に関する具体的な行為を記載した資料を作成して、個人ワークやグループワークなどの勉強会を行っている。言葉による拘束に関しても採用時研修で指導し、日々のケアの中でもその都度注意を促している。玄関は夜間のみ施錠し、利用者が出かけようとした時は一緒に外出して安全面に配慮している。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	年に一度、必ず勉強会のテーマに取り上げ、虐待防止に取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>外部の研修に参加し、学ぶ機会があり、それを全職員に報告しています。また、入居者の方には成年後見人制度を利用している方もいます。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には、重要事項説明書や利用契約書を渡すと共に口頭でも説明を行っています。また、解約時にも不安や疑問がないか確認したり、フォローもを行っています。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議の時など、外部の方もいる時に、ご意見など伺っています。</p>	<p>家族の来訪時に利用者の普段の様子を話し、具体的なケアに関しても家族の意見や要望を聞くように配慮している。家族の意見や意向は日誌に記録して、全職員で内容を把握している。新人職員には見習い期間中に個々の利用者に関することを伝えて、統一したケアができるように配慮している。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>代表者や管理者は、毎月行っている勉強会やカンファレンスに参加し、職員の意見を聴く機会を設けて、できるだけ運営に反映させています。</p>	<p>管理者は、理念に掲げるように、利用者にゆったり寄り添うためには職員が心にゆとりを持って日々のケアを行わなければならないと考え、日頃から各職員の意見や意向を聞き取り働きやすい環境を整えるように心掛けている。職員はケアや業務の見直しなどについても意見を出すなど、意見や提案が言いやすい環境であると感じている。</p>	
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は勉強会やカンファレンスに参加したり、日々の職員のケアを把握し、評価しています。また向上心を持って働けるよう職場環境の整備を行っています。</p>		
13		<p>職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者は、職員の力量に合った外部研修に参加できるように積極的に機会を確保しています。又その他研修案内も職員に伝達しています。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>札幌GH合同事業体に加入しており、そこでの研修会に参加することで、同業者との交流があったり、ネットワークができ、情報交換しながらサービスの質の向上に繋げている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	安心できるようご本人と話し合いをしています。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	安心できるようご家族と話し合いをしています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	代表者と管理者は、入居前の面接で、ご本人とご家族の状況を見極め、他のサービスの利用も視野に入れ話し合いをしています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、ご本人に助けてもらったり、教えてもらう場面を作り、職員は感謝の気持ちを持って接しています。		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人とご家族が、居心地良く過ごせる場面作りをしたり、情報交換もしています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	大切にしてきた馴染みの人や場所などの話題を提供し、関係が途切れないように支援しています。	知人の来訪時には、お茶を提供したり本人の状況に応じて会話の仲立ちをするなど、馴染みの関係が継続できるように支援している。年賀状のやり取りや電話での交流、定期的に同朋の会に参加している利用者など、個々の利用者に応じて関係が途切れないように支援を行っている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う方などを把握し、孤立しないように配慮し、入居者の方の持っている力を活かし支え合えるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、ご家族の方の相談を受けたり、支援に努めています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いなど、コミュニケーションにより把握しています。また困難な方でも表情や生活歴などから把握するよう努めています。	利用開始時に、生活歴を家族に記入してもらったり面談で詳しく聞き取るなど、本人の思いや意向を可能な限り把握できるように工夫している。利用開始後に得られた情報は蓄積して、全職員で共有している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	得た情報は、センター方式に記録し、職員で共有しています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々観察し、申し送りや、カンファレンスなどで情報を共有しています。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	全職員でカンファレンスを行い、ご本人本位の介護計画を作成しています。	定期的な介護計画の見直しは、日々の記録を基に担当職員と計画作成担当者が中心となり、全職員で検討して3ヶ月前後で行っている。家族の意向や思いは、来訪時に聞いて日誌に記録したり、見直し前に確認して介護計画に活かすように工夫している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や気づきなど記録しています。また、ケアプラン実施の様子なども記録し、介護計画の見直しに活かしています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療機関と連携を取り、ご家族が受診に付き添えない時などは、職員が行きます。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	大正琴や茶道、陶芸などボランティアの先生方や近所の方にも協力して頂いています。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	二週間に一度、往診に来て下さる提携医を利用しています。また、他の医療機関を利用したい時には、希望の医療機関を利用して頂いています。	かかりつけ医の継続は希望に応じて可能になっている。家族が受診支援する時は日々の様子を伝え、受診結果は口頭で確認して日誌に記録し、わかりやすく赤で下線を引いている。日誌を基に看護師が医療情報を詳細に記録しているが、現状に即した情報の蓄積には補足が必要な部分も見られる。	受診記録などの医療情報を個別に記録し、経過がわかりやすいような記録方法の工夫を期待したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常勤看護職員が介護職も兼ねており、状況を把握し連携しています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	提携医療機関に入院病棟があり、早期退院できるよう、医師やソーシャルワーカーと情報交換や相談を行っています。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居開始前に、重度化した場合の方針を説明したり、ご本人やご家族の希望を聞いたりします。またターミナルケアも行っています。	利用開始時に「重度化した場合の対応に係る指針」を作成し、事業所として可能な対応を家族に説明して同意を得ている。本人や家族の意向は記録して随時再確認している。現在まで3名の看取りを行い、看取り後に家族も参加した勉強会を実施して学びを深めている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員が採用時の研修で学び、その後は定期的に勉強会のテーマとして取り上げたりしながら身につけて行ってます。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に二回、避難訓練を行っており、近所の方々にも参加して頂いています。	地震からの火災など、夜間を想定した避難訓練を年間2回実施している。近隣住民も参加した訓練を行い、反省会も実施しているが、事業所の意向に沿った消防署の協力は得られていない。職員の救急救命訓練は毎年実施し、地域を含めた連絡体制も整備されている。	運営推進会議などで議題として取り上げ、消防署の協力を得た避難訓練が実施できるような取り組みを期待したい。また、災害備蓄品を再確認し、整備されるように期待したい。
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	誇りやプライバシーを損なわないよう丁寧な言葉かけで接しています。	人生の先輩として尊敬の念を持ち、丁寧でありながら優しさを意識した接遇に努めている。気になる言葉かけがあればタイミングを見計らい注意している。呼び方は名前に「さん」付けであるが、家族の希望する呼びかけをしているケースもある。個人情報関係の書類は保管場所を取り決め、適切に管理している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定できる場面を提供し、入居者の方の思いを汲み取るよう努めています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合を優先せず、入居者の思いを汲み取り、体調に合わせた支援をしています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい身だしなみを整えるお手伝いをし、行事の時などはお化粧やおしゃれをします。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	見た目などにも気を付け、季節感のある食事を提供しています。また、準備なども一緒に行います。	献立は法人本部の職員が立案し、栄養士の点検を受けている。季節毎に畑で収穫した野菜を加えるなど、彩りよく美味しく盛り付けである。週に1度はお好みメニュー日を設けて利用者の好きなものをユニット毎に取り入れれたり、外食や行事でのお弁当も楽しみの一つとなっている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量を記録し、申し送りの時など、職員で情報を共有し、摂取量を確保しています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、個々に合わせた口腔ケアをしています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の失敗などを減らすため、チェック表を使用し、排泄パターンを把握し、トイレでの排泄を目標に支援しています。	利用者の排泄における成功例を事例検討会で取り上げて全職員での共有化を図り、支援策の向上に努めている。リハビリパンツ類をトイレのすぐ横の収納庫に収め、持ち運びに関するプライバシーに配慮したり、本人の精神面に応じた対応を行い、失禁などが軽減したケースがある。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の及ぼす影響の重大さを理解しており、水分チェックや運動を行うが、それでも出ないときには下剤などでコントロールします。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	職員とコミュニケーションを取りながら楽しんで入浴しています。入浴が苦手な方は、話し合いの上、曜日を決めて入浴して頂いています。	月曜日から土曜日の午後の時間帯で毎日湯を沸かし、ゆっくりと入浴できるよう1日3人を目標に支援している。重度化の利用者の場合も2～3名の職員が介助をして湯船に浸かっている。日曜日は足浴日としており、冬期間など足が冷えて眠れない時などは曜日に捉われず随時対応している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	メリハリのある生活に努め、昼夜逆転しない程度のお昼寝をすることもあります。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	勉強会で、服用しているお薬について確認しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来ることを見極め、生活の中での役割を提供しています。また、大正琴や陶芸、茶道など趣味のボランティアの先生にも毎月来て頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>散歩や買い物には、毎日行けるよう支援しています。また、花見やさくらんぼ狩りなど外出行事もあります。</p>	<p>散歩は季節を問わず出かけており、行き先を日誌に記録して利用者の希望を把握することにも努め、外気に触れて季節を感じてもらうことを大切にしている。建物内の「まどべカフェ」でお茶を飲んで楽しむこともある。行事的外出は利用者の身体機能に合わせた車を手配するなどして、果物狩りやお花見などへ全員で外出している。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を持つ大切さは理解しているが、現在、ご自分でお金を所持している方はいません。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>自ら希望される方はいないが、電話がかかってきたときには嬉しそうにされています。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>フロアはバリアフリーになっており、季節感のある装飾品や生花などで明るく居心地の良い空間を作っています。</p>	<p>リビングとダイニングが繋がった広い空間は明るく清潔感があり、畳敷きスペースも設けて利用者が好みの場所で過ごせるようになっている。キッチン調理台や採光に配慮があり、利用者が作業しやすい設計である。調度品は家庭的なものが置かれ、雑誌類を目に入る箇所に備えたり、いつでもお茶が飲めるよう工夫されている。浴室手すりが認識できるような色テープや洗面台を5つ設置するなど過ごしやすい環境を整えている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファの配置などを工夫して、気の合う人と過ごせたり、又は一人で過ごすこともできるようにしています。</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、今まで使いたれた家具などを持ってきていただき、居心地良く過ごして頂いています。</p>	<p>居室入口の壁面一部に色違いのデザインを施したり、自室と分かるような表示をするなど、見当識に配慮があり、安心感を持ってもらえるようにしている。沢山の馴染みの品々が持ち込まれており、飾り棚付き箆笥に愛着のある物が飾られていたり、使い慣れた机に愛読の蔵書が置いてあるなど、個性を活かした居室作りを支援している。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室前には、表札やのれんをかけ、わかりやすい工夫をしています。</p>		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170504021		
法人名	有限会社 アムケア		
事業所名	グループホーム まどべ		
所在地	札幌市豊平区月寒東3条7丁目1-6		
自己評価作成日	平成23年7月1日	評価結果市町村受理日	平成23年8月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「2階ユニット わらべうた」に同じ

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0170504021&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成23年7月28日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)			

(別紙4-1)

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「ゆったり寄り添い慈しみ合って暮らしていきたい、自分らしく誇り高く地域の一員として生きいきと」の理念を居間とスタッフルームに掲示し全職員で共有しています。また、勉強会、カンファレンスなどで意見交換しています。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会加入しており、今年は班長を務めるなど交流しています。また、毎日の散歩の折には、入居の方と地域の方との気軽な声かけがあります。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の時など、地域の方より認知症ケアについての相談を受けたりして、お話を聞いたり、アドバイスさせて頂いたりしています。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	外部評価や公表制度の報告を行っています。そこで話し合いや、意見交換を行っています。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	役所の担当の方に相談したり、サービスの質の向上に努めています。また集団指導や管理者連絡会議には必ず出席しています。		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアを行うよう、勉強会やカンファレンスに代表者が参加し、全職員に報告しています。玄関に施錠しないなどの実践しています。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年に一度、必ず勉強会のテーマに取り上げ、虐待防止に取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>外部の研修に参加し、学ぶ機会があり、それを全職員に報告しています。また、入居者の方には成年後見人制度を利用している方もいます。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には、重要事項説明書や利用契約書を渡すと共に口頭でも説明を行っています。また、解約時にも不安や疑問がないか確認したり、フォローもを行っています。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議の時など、外部の方もいる時に、ご意見など伺っています。</p>		
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>代表者や管理者は、毎月行っている勉強会やカンファレンスに参加し、職員の意見を聴く機会を設けて、できるだけ運営に反映させています。</p>		
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は勉強会やカンファレンスに参加したり、日々の職員のケアを把握し、評価しています。また向上心を持って働けるように職場環境の整備を行っています。</p>		
13		<p>職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者は、職員の力量に合った外部研修に参加できるように積極的に機会を確保しています。又その他研修案内も職員に伝達しています。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>札幌GH合同事業体に加入しており、そこでの研修会に参加することで、同業者との交流があったり、ネットワークができ、情報交換しながらサービスの質の向上に繋げている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居開始前に、ご本人と話し合いを行い、安心して頂けるよう努めています。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居開始前に、ご家族と話し合いを行い、安心して頂けるよう努めています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	代表者と管理者は、入居前の面接で、ご本人とご家族の状況を見極め、他のサービスの利用も視野に入れ話し合いをしています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に過ごす中で、ご本人のできることを見極め、教わる場面を作り、暮らしを共にする関係を築いています。		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	気軽に来訪で来たり、相談できる雰囲気作りをしています。また、ご本人とご家族がより交流できるように仲立ちをしています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅へ外泊される方への支援や、ご友人との会合へ参加される方への支援などしています。		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	好きなことや性格を把握し、気の合う方同士が交流できるよう、仲立ちや雰囲気作りをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	在宅へ戻られた方へも、まどべ浪漫のデイサービスを利用して頂いたり、関係を大切にしています。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活歴や日々の会話などから、思いを汲み取り、ご本人の視点で支援しています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族から得た情報は記録し、全職員で共有しています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々観察し、職員は情報を共有して統一したケアを行っています。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	全職員でカンファレンスを行い、ご本人やご家族のニーズを把握し、ご本人本位の介護計画を作成します。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子など具体的に記録し、また、ケアプラン実施の様子なども記録しており、介護計画の見直しに活かしています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	提携医以外とも連携を取ったり、ご家族が受診に付き添えない時などは、職員が行きます。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	毎月来て下さる、大正琴や茶道、陶芸などボランティアの先生方や近所の方にも協力して頂いています。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居開始前より受診している医療機関がある方は希望通り受診しています。また、希望のない方は提携医を利用しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常勤看護職員があり、24時間連絡が取れる体制となっております。また情報を共有しており、介護職員と連携しています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	早期退院の大切さを理解しており、入院病棟のある提携医にその都度相談しています。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居開始前に、重度化した場合の方針を説明したり、ご本人やご家族の希望を聞いたりします。またターミナルケアも行っています。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員が採用時の研修で学び、その後は勉強会でも消防署の方などと連携し、実践的訓練を行っています。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に二回、避難訓練を行っており、近所の方々にも参加して頂いて話し合いもしています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけなど、誇りやプライバシーを損ねないよう尊敬の気持ちで接しています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活で自己決定できる場面を提供したり、思いを汲み取るよう努めています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎朝行っているバイタルチェックの時に、コミュニケーションを取りながら体調を確認し希望に合った支援をしています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節感や生活場面を大切に、その人らしいおしゃれができるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたいメニューなど会話などから把握して提供しています。また出来ることを見極めながら一緒に準備など楽しく行っています。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量を記録し摂取量が確保できるように支援しています。また個々の習慣に対応できるように職員で情報を共有しています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔状態や、持っている力に応じた口腔ケアをしています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	出来る限りトイレで排せつできるよう、排泄パターンを把握し、必要な方には誘導をしています。また介助が必要な方には、羞恥心に配慮して行っています。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の重要性を理解しており、予防のために、水分チェックや運動をしています。		
45	17	入浴を楽しむことのできる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	希望に合わせて入浴しています。また、職員と1対1でコミュニケーションがとれるので楽しまれています。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間に熟睡できるように、メリハリのある生活に工夫したり、短時間の昼寝もしてもらっています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病状に合わせて服用している薬について、勉強会で確認しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来ることを見極め、役割のある生活を提供しています。また、大正琴、陶芸、茶道、音楽療法の先生が毎月来て下さっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>一年を通して、毎日のように散歩や買い物に行っています。また、動物園やレストランへ行くなど外出行事もあります。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を持つ大切さを理解しており、ご自分の財布から好きな物を選んで買い物するのを楽しみとされている方もいます。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>自由に電話できるように支援しています。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>フロアはバリアフリーになっており、季節感のある装飾品や生花で、明るく居心地の良い空間にしています。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファの配置などを工夫して、気の合う人と過ごせたり、又は一人で過ごすこともできるようにしています。</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、今まで使いなれた家具などを持ってきていただき、居心地良く過ごして頂いています。</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室前には、表札やのれんをかけ、わかりやすい工夫をしています。</p>		

目標達成計画

事業所名 グループホームまどべ

作成日：平成 23年 8月 24日

市町村受理日：平成 23年 8月 25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	30	日誌には記録しているが、医療関係の記録を探す時にまとまっていないため、時間がかかったり、経過が分かりづらい。	受診の内容が経過を追って分かりやすいようにする。	ユニットごとに「受診記録ノート」を作り、個別に経過が分かるようにする。また、その都度、申し送りで情報を共有する。	H23.8
2	35	去年から、消防署の方に、避難訓練への参加をお願いしているが、忙しいとのことで、参加に至っていない。	年に二回行っている避難訓練の内、まず、一回は消防署の方に参加して頂く。	避難訓練の日程を、早めに伝え、消防署の方が参加できるような日程調整を行っていく。	H23.9～ 24.5
3		災害備蓄品として、整備されておらず、災害時に持ち出すべきものを、スタッフ全員が理解していない。	災害などの緊急時に持ち出すものを準備し、全スタッフが把握する。	勉強会の時に、災害備蓄品を再確認できるように話し合う。	H23.8～ 24.7
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。